

# JIS

## 日本語文書交換用ファイル仕様 (二値図形)

JIS X 4004<sup>-1989</sup>

(1994 確認)

(1999 確認)

(2004 確認)

平成元年 3 月 1 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

---

主務大臣：通商産業大臣 制定：平成元.3.1

官報公示：平成元.3.3

原案作成協力者：社団法人日本電子工業振興協会

審議部会：日本工業標準調査会 情報部会（部会長 高橋 茂）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部電気・情報規格課（☎100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
1. 適用範囲	1
2. 用語の意味	1
3. 日本語文書交換用ファイル(二値図形)の構成	2
3.1 文書ファイル	2
3.2 文書見出し部	3
3.3 文書データ部	3
4. 文書見出し部	5
4.1 文書見出し部の構成	5
4.2 領域定義ラベル	5
4.3 文書見出しラベル	6
5. 文書データ部	9
5.1 文書データ部の構成	9
5.2 文書書式情報	9
6. テキスト	10
6.1 テキストの構成	10
6.2 図形文字	10
6.3 制御機能	10
6.3.1 制御機能の種類及び表現	10
6.3.2 制御機能の機能	14
6.3.3 制御機能の表現	17
6.4 書式制御の基本状態	19
7. 二値図形	19
7.1 ブロック	19
7.1.1 ブロックと二値図形	19
7.1.2 ブロックの定義	19
7.1.3 ブロックの位置決め	19
7.1.4 ブロック及びテキストの配置	20
7.2 二値図形データの表示	20
7.2.1 二値図形領域	20
7.2.2 二値図形の座標系	20
7.2.3 二値図形データ	21
7.3 二値図形の符号化	21
7.3.1 符号化の方式	21
7.3.2 ビットマップ符号化方式	21
7.3.3 1次元符号化方式	22
7.3.4 2次元符号化方式	22

	ページ
7.4 画素密度 .....	23
8. ブロックデータ部 .....	23
8.1 ブロックデータ部の構成 .....	23
8.2 ブロック書式情報 .....	23
8.3 二値図形データの表現 .....	24
8.3.1 二値図形データ .....	24
8.3.2 二値図形表現属性 .....	25
8.3.3 二値図形データ列 .....	26
附属書 1 システムラベル .....	28
附属書 2 文書書式情報の省略 .....	30
附属書 3 ページ書式 .....	31
解 説 .....	33

# 日本語文書交換用ファイル仕様 X 4004-1989 (二値図形)

## File Specification for Japanese Documents Interchange (Raster Graphics Type)

**1. 適用範囲** この規格は、日本語ワードプロセッサ又はこれと同等の機能をもつ情報処理機器相互間でフレキシブルディスクカートリッジを用いて、文字及び二値図形を基本とする日本語文書の交換を行う場合の文書ファイルの仕様について規定する。

この規格は、次の内容を規定する。

- (1) 文書ファイルの構成
- (2) 文書ファイルを構成する情報の種類及び形式
- (3) 使用する文字符号(図形文字、制御文字)の種類及び機能
- (4) ブロックデータ部の構成
- (5) 二値図形の表現及び文書ファイルへの格納形式

**2. 用語の意味** この規格で用いる主な用語の意味は、情報処理用語に関する日本工業規格によるほか、次のとおりとする。

- (1) **文書** 人間が理解できるように2次元形式で表現される情報であって、例えば用紙上に印字又は画面上に表示されるもの。この規格においては、文書は1ページ以上からなり、文書作成時の書式の初期値を定義する文書書式情報をもつ。
- (2) **文書ファイル** 日本語文書の交換の対象となる一つ以上の文書からなるファイル。文書ファイルは、文書見出し部と文書データ部からなる。一つの文書は、文書見出し部中の文書見出し情報と文書データ部中の文書実体の対として媒体上に格納する。
- (3) **ファイル** 一つの単位として取り扱われる関連したレコードの列。ファイルは、一つのボリュームの全体若しくは一部、又は二つ以上のボリュームにまたがって格納することができる。
- (4) **ボリューム** 取付け、取外しのできるデータ媒体の物理的単位。この規格においては、フレキシブルディスクカートリッジがこれを相当する。一つのボリュームには、一つのファイルの全体若しくはその一部、又は二つ以上のファイルを格納することができる。
- (5) **レコード** 媒体上での格納及び読出しの単位となる連続したデータの集合。この規格においては、256バイトの長さとする。
- (6) **エクステンツ** 連続した昇順のアドレスをもつレコードの列。
- (7) **システムラベル** JIS X 0603 (情報交換用フレキシブルディスクカートリッジのラベルとファイル構成)によって規定されているボリューム見出しラベル、ファイル見出しラベルなどの集まり。
- (8) **文書見出し情報** 文書ファイルに格納される文書実体に先立って置かれる情報であって、各文書を識別し、その記憶場所、文書の属性などを表すもの。
- (9) **文書交換水準** 交換する文書中に含まれる事務用グラフ、幾何学図形、二値図形のありなし、取り扱う文字の符号化表現及び制御機能などの種別によって区分した文書的水準。

---

引用規格、対応国際規格及び関連規格：32ページに示す